

K.I.T.虎ノ門大学院 2017年度 学習支援計画書(シラバス)

※ 欠席・遅刻する場合は、事前相談/連絡を徹底してください。(連絡先: 虎ノ門事務室 [メールまたは電話])
 ※ 授業中の食事は控えてください。携帯電話はマナーモードにするなど、受講するにあたってのマナーをお守りください。

科目名	科目コード	単位数	開講期	VOD閲覧
戦略思考要論	Z 100	1 単位	1学期 4学期	学内・学外
Essentials of Strategic Thinking				
科目分野	課程領域			
戦略思考・コンサルティング	イノベーションマネジメント共通科目			
担当教員名	メールアドレス	連絡方法 / オフィスアワー		
三谷 宏治	-	土曜日		

関連している科目(履修推奨科目)

ほぼ全科目

授業の概要と到達目標

授業の主題と概要

ビジネスにおいて必要なのは、単なるロジカル・シンキング力でなく、ビジネスにおける様々な状況を俯瞰的かつ連携的に捉えられる「戦略思考」能力である。超基礎である「重要思考」とともに、様々な戦略論やツールを統合するフレームワークとしての「B3C」を中心として、独自の思考スキルを当専攻の受講生全員が身につけることを、この科目の目的とする。

- ① 企業戦略・変革の本質的な成功・失敗「メカニズム」(要因、ではない)を理解する。そのための、基礎的な思考力を鍛えることがこの講義の第一義である
- ② 基礎的思考力の一つがロジカル・シンキングの一部である「重要思考」である。これは思考や発言のあらゆる機会を捉えて試み、フィードバックすることで徹底していく。
- ③ もう一つが「B3C」等であるが、これらは主に(ミニ)ケーススタディを通じて、繰り返し練習する。

到達(修得)目標

1. 全てのビジネス思考の基礎となる「重要思考」を修得する
2. 戦略思考の基礎となる「重要思考」「B3Cフレームワーク」を修得する

受講対象者

イノベーション・マネジメント専攻の全受講生・科目等履修生

履修上の注意事項やアドバイス

※2期以降の「戦略思考特論」「CRM特論」「戦略思考演習」受講希望者は事前履修が必須

事前に、ロジカル・シンキングについては下記テキストなどで予習・練習しておくこと。また基本ビジネス・経営用語の知識を前提とするので、『経営戦略全史』『ビジネスモデル全史』は講義開始時までに熟読しておくこと。

★出席はきわめて重要。

★1学期は、他の科目に先駆け、入学式前から開始。3日間で集中開講する。

★4学期は、計4日間の変則日程で開講する。

※ 本科目は、集中開講または変則開講クラス(合計8コマ)で構成する。開講日時に注意すること。

※ 欠席が、2コマ(90分=1コマ)を超える場合は、単位修得にも影響する。欠席の際は、事前連絡を徹底すること。

※ 担当する教員は実務家教員とする。

※ 授業にて配布する資料等教材や講義収録映像・音声の無断転用・転載を禁じます。

コンピテンシ修得目標

知識領域 (Y軸)	ヒューマンパワー (Z軸)	思考プロセス (X軸)
Y1: 基盤法令・テクノロジー	Z1: 問題発見力	X1: 企画
Y2: 応用法令・実務・テクノロジー	Z2: 独創力	X2: 構想
Y3: グローバル法令・実務	Z3: 問題解決力	X3: 調査・分析
Y4: マネジメント	Z4: プレゼンテーション力	X4: 設計・開発
Y5: 戦略立案	Z5: 変革推進力	X5: 変革
Y6: 標準化	Z6: コミュニケーション力	X6: 導入・運用
	Z7: リーダーシップ力	X7: 評価・検証
	Z8: ネゴシエーション力	X8: リーガルマインド
	Z9: オーナーシップ力	X9: ライフサイクル

プラクティカム

イベント / ケース	教育技法	マテリアル / ツール
1 独自コンテンツの講義	講義	PPT
2 ロジカル・シンキング演習	演習	
3 トレッサ横浜	ミニケーススタディ	当日配布
4 サバイバル 1. 2.	ミニケーススタディ	当日配布
5 スタインウェイ&サンズ	ケーススタディ	要 購入
6 DELL	ケーススタディ	要 購入

評価の方法		
(総合評価項目と割合)		評価の要点
出席・受講態度	10%	クラス貢献はクラスでの発言の量と質を加味する。発言がなければ当然、不可となるので注意のこと。 毎回、事務室より出席簿を準備する。
クラス貢献／討議・ディスカッション	90%	
合計	100%	

テキスト・参考図書など		備考
※ 追加する場合を含め、一部変更となる場合もございますので予めご了承ください		
テキスト (購入が必要)	ケース: スタインウェイ・アンド・サンズ会社(9-607-J17, HBS)* ケース: デル・コンピュータ(9-705-J04, HBS)* ①『実例で必ず身につく! 一瞬で大切なことを伝える技術』三谷宏治(かんき出版) ②『一瞬で大切なことを決める技術』三谷宏治(中経の文庫) ③『経営戦略全史』三谷宏治(ディスカヴァー21)	③⑥は基礎知識として講義開始時までに読み終えておくこと。 ケースは各自が購入し、事前に熟読しておくこと * http://www.bookpark.ne.jp/harvard/ にて、スタインウェイとデルを購入の際は、(607J17)、(705J04)
参考図書 (購入は任意・講師推奨)	④『一瞬で大切なことを伝える技術』三谷宏治(かんき出版) ⑤『戦略思考ワークブック』三谷宏治(ちくま新書) ⑥『ビジネスモデル全史』三谷宏治(ディスカヴァー21)	
参考URL		
適宜紹介予定		

コマ	学習内容	事前準備・課題	担当者	時間
1.2	重要思考と伝える・決める力演習	③『経営戦略全史』と⑥『ビジネスモデル全史』、①『実例伝える技術』を読んでおく	三谷	180分
	イベント			
3.4	戦略思考フレームワークとミニケース演習	②『決める技術』、④『伝える技術』、⑤『戦略思考ワークブック』で復習しておく	三谷	180分
	イベント			
5.6	B3C: 市場の定義と分析力	『スタインウェイ』の熟読と、市場等の分析	三谷	180分
	イベント			
7.8	B3C: コスト構造と価値分析	『DELL』の熟読と、コスト構造等の分析	三谷	180分
	イベント			

- ※ 講義日程は、学事ポータルでの講義日程表をご参照ください。
- ※ 学習内容やスケジュールは、状況に応じて一部変更・改善が生じる場合があります。
- ※ 講義収録は、特別講師を招く場合など、内容によっては収録できない場合があります。